

平成 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	中心市街地飲食店活性化事業 まつもと城町バル
事業主体 (連絡先)	まつもと城町バル実行委員会 電話：080-3354-4686
事業区分	(6) エ 商業の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,637,414 円 (うち支援金：1,378,000 円)

事業内容

松本駅前・中心市街地各店舗の活性化を目的として、国内各所で行われ始めている「街バル」の仕組みを取り入れた、「直接お店が舞台となる」食べ呑み歩きイベント「まつもと城町バル」を開催した。

【試験開催となるプレイベント】

開催日：27年10月6日(火) 参加店舗：28店舗
チケット販売数：429冊(2,145枚) 利用数：1,900枚

【第1回まつもと城町バル】

開催日：28年2月2日(火) 参加店舗：60店舗
チケット販売数：816冊(4,080枚) 利用数：3,767枚

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 定額チケットで参加店舗を飲み歩ける仕組みにより、殆どの参加店で来客の半数以上が初来店と飲食店街の活性化の役割を果たした。
- ② 例年各種イベントと重ならない時期の平日に開催したことで、新たな飲食需要を生み出した。
- ③ プレイベントで出た問題点・要望等を第1回に活かし、参加者アンケートでは95%の人が今後も参加したいと回答するなど、定着するための礎は達成した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

好評を頂いている今の間に、店舗による集客差の解消や接客・運営に対する要望などを活かして、次年度以降の開催へ繋げる。まずは参加店舗・チケット発行をやみくもに増やすのではなく、提供品の質やチケットの完売をめざし、次の段階で拡大するなど、一步一步着実に成長させ、文化として定着させたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【人気店舗前の行列】

【目標・ねらい】

- ① 飲食店街の活性化
- ② 閑散期の誘客効果
- ③ 継続事業としての文化づくり

※自己評価 【B】

【理由】

アンケート等で予想を上回る好評を得たが、PR不足などにより、チケットが完売とならなかった事などから、次年度にAを目指す。